

33 カ国リレー通信 <第6回>

パナマ「ゲイシャ」に魅せられて

小 森 達 二

私は一日に 10 杯前後のコーヒー（今流行のエスプレッソでなくドリップ式のコーヒー）を飲む、大のコーヒー党である。これは恐らく私の滞米年数との関係であろう。ご存知の様にアメリカはコーヒーのお代わりが「タダ」と言うお国柄、何杯も飲む癖がついた。コーヒーが体に良いとの研究レポートを見た影響もある。（残念ながらスターバックスでは未だに「タダ」でのお代わりの経験はない。）

そんな私が 2 年前から中米パナマに住む事となり、「ゲイシャ」を知る所となった。パナマの「芸者さん」ではなく、Geisha と書く、コーヒー豆の種類（ブランド）である。ジャマイカのブルーマウンテンやハワイのコナ・コーヒーと同じと理解して頂きたい。

何故私が Geisha とめぐり合う機会を得たかということ、パナマの大手コーヒー農園の一つである Cafe de Eleta との縁が出来、パナマはスペシャルティ・コーヒー（Specialty Coffee=上質コーヒー）の生産では世界でもトップクラスであり、なかでも今一番注目されているコーヒーが Panama Geisha である事を知ったからである。

Panama Geisha は過去 3 年におけるインターネット・オークションで 1 ポンド（約 450 グラム）あたり \$21（2005 年）、\$50.25（2006 年）、



\$130（2007 年）と言う驚異的な値段で取引された。一般的なスペシャルティ・コーヒーの取引は大体 1 ポンド \$2 前後で取引されるので、オークションとは言えその高額さが際立っている。

さてその味だが、ジャスミンティを思わせる香り、そして口に含むと上質な酸味とコクがある。コーヒーはあくまでも嗜好品であり、人それぞれの好みがあるが、私は始めて Geisha コーヒーを飲んだ時の、最初の一口の感動は未だに忘れられない。日本に居る自称コーヒー通の友人に少し送った所、「これ程上品な酸味を持ったコーヒーは飲んだ事がない。この年になってこれだけのコーヒーにめぐり合えるとは夢にも思わなかった。」との賛辞を得た。しかし生産量が非常に少ない為、もっぱら米国向けでパナマ国内でも出回らず、日本へも少量輸出されるのみ。まだまだ一般的でなく、試して頂けないのが残念だ。

そこで小稿では、この Geisha Coffee について私の知っている範囲で簡単にご紹介したい。(コーヒー関係の方々はもちろん Geisha Coffee をご存知であり、専門家でない私の理解が間違っている点があればご容赦頂きたい。)

1. 品種の交配経路について

コーヒーは元々アフリカが原産地だが、大きく分けて、アラビカ種(エチオピア原産)、ロブスタ種(コンゴ原産)の2種類がある。生産量の80%前後がアラビカ種の様で、Geisha Coffee はアラビカ種の変種である。したがって Geisha の故郷はエチオピアと言う事になる。

2. 名前の由来について

この種が発見されたエチオピアの Gesha という地名から Geisha となった。(ちなみにパナマでは「Geisha」と言うブランドのツナの缶詰/蟹の缶詰が販売されている。)

3. 歴史について

1931年 エチオピアで発見。

1931年～1932年 ケニアへ種が渡る。

1936年 タンザニアへ。

1953年 中米コスタリカへ。

1977年頃 コスタリカからパナマへ。

という長旅を経て、パナマで大きく開花した。この流れから分かる様に Geisha の種が各国を転々とする間に、どの国でも栽培出来たのではないかという疑問が生じるが、パナマの気候風土が合ったのか Panama Geisha が最も優れた品質となった。パナマでの試行錯誤の結果、標高 1,450 メートル以上での栽培が

最低必要条件とされている。

4. Panama Geisha 今後の展望

過去 3～4 年で新たに作付けされた Geisha コーヒーが収穫期を迎え、生産量は増える傾向にあるので、価格的には今より入手し易くなると思われるが、それでも需要と供給のバランスから高値推移は今後も続くとしている。ブルーマウンテン同様に Panama Geisha がブランドとして確立する事をパナマのコーヒー関係者として願っているし、また我々 Cafe de Eleta も 2008/2009 年度(コーヒー年度は 10～9 月)より Geisha コーヒーを収穫出来るので、少しでも多くの日本の方に Panama Geisha を味わって頂ける様、努力したい。

パナマについては南北アメリカ大陸を結び、太平洋と大西洋をパナマ運河でつなぐ国と言う程度の認識しか持っていなかったが、こんなに素晴らしいコーヒーの産地である事を知り、少しでも多くの日本の方々にパナマ・コーヒーの素晴らしさ知って頂ければと願っている。

(こもり・たつじ Cafe de Eleta)



農園はパナマ高原地帯(チリキ県)の豊かな自然に囲まれている。